

ヒヤリハットも事故のうち 活かす教訓 危険予知



平成 25 年 10 月 No.531

発行所 陸上貨物運送事業労働災害防止協会

〒108-0014 東京都港区芝 5 丁目 35 番 1 号

産業安全会館内 ☎03-3455-3857 代表

<http://www.rikusai.or.jp>

会員の方の購読料は会費に含まれております。

(印刷物による年間購読料 3,600 円)

- 第 28 回全国フォークリフト運転競技大会開催 … (1) ~ (3)
- 災害事例とその対策 (荷役災害) ……………… (4)
- 安全管理士の着眼点 ……………… (5) ~ (6)
- 安全衛生教育講師養成講座を受講して ……… (7)
- 労働災害発生状況 ……………… (8)

第 28 回全国フォークリフト運転競技大会開催

優勝者 崎元和久選手 (鹿児島県支部)

準優勝者 本間隆行選手 (新潟県支部)



全国フォークリフト運転競技大会 会場全景

第 28 回全国フォークリフト運転競技大会が、9 月 29 日に、埼玉県深谷市の埼玉県トラック総合教育センターで開催され、729 名が参加した全国各支部での地区予選から選出された 54 名の選手が学科・点検・運転の 3 種目で知識と技能を競いました。

この大会は、フォークリフトの運転競技を通して、遵法精神と安全意識の高揚、運転の知識と技能の向上を図り、職場における安全作業の確立と労働災害の防止を目的として厚生労働省の後援、(公社)全日本トラック協会及び(一社)日本産業車両協会の協賛、またコマツリフト株式会社、ニチユ三菱フォークリフト株式会社、埼玉ユニキャリア販売株式会社、トヨタ L & F 埼玉株式会社、住友ナコマテリアルハンドリング販売株式会社からのご協力をいただき開催しました。

開会式

午前 9 時からの開会式では、まず佐藤公望大会実行委員長 (陸運労災防止協会専務理事) から、開会の挨拶があり、次いで、開催地の鳥居伸雄埼玉県支部長から、選手激励の挨拶がありました。

続いて、昨年の優勝者が所属していた富山県支部選出の新村克則選手が全選手を代表して、力強く宣誓を行いました (写真 1)。



写真 1 選手宣誓

学科競技

オリエンテーションが行われた後、競技が開始され、選手は、抽選で決まったゼッケン番号を胸に着けて、最初の学科競技に取り組みました (写真 2)。法令、フォークリフトの荷役に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識等安全の基礎として必要な知識に関する問題です。

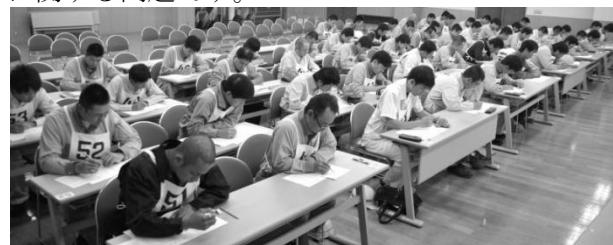


写真 2 学科競技

点検競技

次は、点検競技です (写真 3)。フォークリフ

トの作業開始前点検は、労働安全衛生規則により義務付けられています。作業開始前にフォークリフトの点検を適切に行い、不具合箇所を見つけるという設定です。限られた時間の中



写真3 点検競技

ですばやく点検が行われました。

運転競技

最後は、運転競技です(写真4)。ディーゼル・トルコン車を使い、決められたコースを走行し、必要な荷の積み卸し等を限られた時間の中で行います。フォークリフトのエンジンキーを審査員から受け取り、真剣な面持ちでエンジンを始動させる選手の方々からは大きなプレッシャーと緊張感が伝わってきました。

そのような重圧の中、フェンスに囲まれた決して広くないコースを的確に素早く運転していました。



写真4 運転競技

表彰式

開催日一週間前の最高気温が過去の平均気温より 5 度近く高い 30 度を記録し、暑さが心配さ

れましたが、開催日は秋を感じさせる、乾いていてさわやかな秋晴れでした。

全選手が競技を終え、午後 2 時 45 分から表彰式が行われました。表彰式の会場となった多目的ホールは、支部や選手の所属する事業場等から応援にみえられた方々で一杯となり、会場の外まで採点結果を待つ熱気があふれていました。

当協会川合正矩会長からの「本日の大会を通じて得られた経験を職場の同僚、後輩の方々に広く伝えていただき、職場における労働災害の防止になお一層のご尽力をいただきたい」旨の挨拶(代読)に続き、ご来賓の厚生労働省労働基準局安全衛生部長、全日本トラック協会会長、日本産業車両協会会長のご祝辞をいただきました。

その後、当協会 小林繁男技術管理部長から、各競技についての講評と入賞者発表があり、入賞者のお名前が読み上げられる都度、応援の方々から大きな歓声があがり、拍手が沸き起こりました。

そして、厚生労働大臣賞と陸運労災防止協会会長賞各賞が入賞された選手に授与され、今回の大会は、午後 3 時 30 分に閉会となりました。



入賞選手の皆さん

左から、磯野真一選手、西村純也選手、崎元和久選手、佐藤大会実行委員長、本間隆行選手、大村正明選手、菊池健二選手

第28回全国フォークリフト運転競技大会出場選手の皆さん(敬称略)									
支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	
北海道	阿籠 賢蔵	群馬県	磯野 真一	新潟県	本間 隆行	愛知県	塚本 雄大	愛媛県	高橋 啓敏
青森県	大村 正明		岩本 武範	富山県	新村 克則	三重県	堀田 晋也	高知県	伊尾木崇司
岩手県	菊池 健二	埼玉県	湯本 浩	石川県	小寺 信行	滋賀県	西村 純也	福岡県	小林 徹
宮城県	及川 正史		神馬 啓太	福井県	児玉 勝弥	京都府	足立 泰志	佐賀県	市村 雅史
山形県	渡會 耕治	千葉県	清野 光一	山梨県	渡邊 慎一	大阪府	伏田 裕輔	長崎県	吉田 侑司
福島県	戸澤 克美		齋藤真裕美	長野県	風間 靖雄	岡山県	山口 幸一	熊本県	白谷 鉄男
	瀬野 雅樹	東京都	菅原 慎一	奈良県	望月 利浩	山口県	岡本 貴之	大分県	小野 達也
茨城県	中條 俊也		田代 祐太	岐阜県	山崎正太郎	徳島県	條辺 喬史	宮崎県	鍋島 尚
	酒井 秀幸	神奈川県	谷崎 洋	静岡県	川島 輝久		鳴瀬 和樹	鹿児島県	崎元 和久
栃木県	本橋 悟		星野 俊一	山梨県	山田 和哉	香川県	野中 洋介	沖縄県	新川 宣明
	佐藤 秀行	新潟県	飯島 洋平	愛知県	渡邊 真一	愛媛県	澤田 敏幸		

第 28 回全国フォークリフト運転競技大会講評

技術管理部長 小林繁男

総合得点でみると、平均点は 902.5 点であり、優勝者は 1,000 点満点中 991 点と素晴らしい成績でした。

学科競技は、満点の方は 3 名でした。よく勉強されていたと思います。

点検競技は、満点が 23 名であり、42.6% を占めました。点検は基本のことですのでもっと多くの方に満点を取っていただきたいところです。

運転競技は、満点の方が 8 名と大変良い成績でした。大変努力をされたものと思います。

以上の成績でしたが、特に運転競技は 1 位から 5 位の中で 4 名が満点で大変な接戦でした。

選手の皆さんには、今日一日大変な緊張の中で精

一杯、日頃の力を発揮しようと努めていました。思うように実力を発揮できた方、また残念ながら十分に実力を発揮できなかつた方もいると思いますが、これまでの努力、大会への参加は大きな経験として今後の活動に生かしていただけるものと思います。

本年は、お陰様で大変良い天気の中での大会でした。大会の目的である、運転技能の向上と安全意識の高揚を十分果たすことのできた大会でありました。

また、多くの方の来場をいただき、選手と応援の方々の熱意の中、素晴らしい盛り上がりの競技大会となりましたことを感謝申し上げます。

優勝選手インタビュー

日本通運(株) 志布志支店 崎元和久 選手

優勝おめでとうございます。ご感想をお聞かせください。

凄くうれしいです。学科競技と点検競技が満点でないことを運転競技に臨む前に気付いていましたので、優勝できないと思っていました。その分、苦手な運転競技だけでも頑張ろうと気合いが入りましたので、運転競技は自分でも手ごたえがありました（運転競技満点）。自分は 5 位か 6 位と思っていたので、優勝選手発表で自分の名前が読み上げられた時は涙が出ました。

大会出場のきっかけをお聞かせください。

昨年、上司から推薦されたのがきっかけです。

地方大会に出場して昨年が 2 位、今年 1 位となり、初めての全国フォークリフト運転競技大会出場でした。

どのように競技にのぞまれましたか？

学科競技に向けて 2 年間毎日、最低でも 30 分は勉強しました。学科は関係法令が基本だと思っています。「フォークリフト運転士テキスト」の巻末に掲載されている関係法令から読み、巻頭に戻り再度関係法令を読みました。そのことでテキストの内容が理解できたと思います。

運転競技に向か、7 月末に全国大会出場が決まってから自分で会社の敷地内にコースを作り、業

務後、日が暮れるまで 1 日 1 時間は練習しました。

優勝できたのは、日々の努力です。毎日 1 ページでもテキストを読むことです。また、負けん気が強いのが自分の武器です。

運転資格取得時期 優勝された崎元和久選手と現在の職務内容をお聞かせください。

約 21 年前にフォークリフト運転資格を取得しました。現在はトラック業務に就いています。クレーン等も運転しており、複合作業の中で毎日ではありませんが、1 日平均 1、2 時間フォークリフトを運転しています。

作業中に意識されていることはありますか。

安全重視です。会社からも安全については特に言われています。運転中は周りに人がいないかを確認し、危ない業務はしないことを心掛けています。

最後に今後の抱負をお聞かせください。

職場でも後輩を指導していくよう言われています。後輩の育成にこの経験を生かして取り組みたいです。



第28回全国フォークリフト運転競技大会入賞者							(敬称略)
順位	氏名	支部名	総合得点	学科	点検	運転	
優勝 (厚生労働大臣賞)	崎元和久	鹿児島県	991.0	294	97	600.0	
準優勝	本間隆行	新潟県	984.0	294	100	590.0	
第3位	西村純也	滋賀県	982.0	282	100	600.0	
第4位	大村正明	青森県	982.0	288	94	600.0	
第5位	磯野真一	群馬県	979.0	282	97	600.0	
健闘賞	菊池健二	岩手県					

第3位と第4位の差は、点検競技の上位者

	配点	最高得点	平均点
学科	300	300(3名)	264.7
点検	100	100(23名)	94.2
運転	600	600.0(8名)	543.6

()内は満点者数

災害事例
と
その対策

フォークリフト作業で積荷の手直し中に荷 が落下する

1 事業の種類：貨物自動車運送業（倉庫業）

2 被災者：フォークリフトオペレーター

3 傷病の程度：右足首骨折

4 災害発生状況

- ① 被災者は前日の作業指示に従って当日朝 7 時 30 分に出勤、清涼飲料水の出荷作業の準備に取り掛かった。
- ② 被災者の作業はシュリンク包装された清涼飲料水（12kg×52 ケース：パレット積）をフォークリフト（1.5 t）で倉庫から出庫し、配達車両である 2t バン車にバラで積み込む作業であった。
- ③ 8 時 30 分頃配達車両が到着し運転者と作業打ち合わせ後、積込み作業を開始した。
- ④ 最初に積込むパレット荷をフォークリフトで横持ちし、配達車両の前で方向転換をするため右にハンドルを切った際、上部の 2 段の荷に 20 cm 程度荷ズレが生じた。
- ⑤ 被災者は荷の手直しをしようとフォークリフトから下車し、配達車両の運転者も手伝いに車両から降りてきた。
- ⑥ 二人で荷の手直し中、運転者がズレた荷を押し込んだ勢いで被災者側に上段の荷が 3 ケース崩れ落ち、支えきれずに避けようとした被災者の右足首に落下した。

5 災害発生原因

- (1) 荷崩れ防止措置が十分にされていなかった。
- (2) フォークリフトのスピードの出し過ぎと急旋回をした。
- (3) 安全教育を怠っていた。
- (4) 作業計画が作成されておらず、作業指揮者も選任されていなかった。

6 再発防止対策

この種の災害は非常に多く発生しています。厚生労働省の「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」（平成 25 年 3 月）に次のとおり示されています。

【フォークリフトによる労働災害防止対策】

- ア. フォークリフトの運転は資格を有している労働者に行わせる。（技能講習、特別教育）
- イ. 定期自主検査を実施する。
- ウ. 作業計画を作成する。
- エ. 労働者が複数の場合は作業指揮者を配置する。
- オ. 構内のルール（制限速度、安全通路等）を定め見やすい場所に掲示する。
- カ. 通路の死角部へのミラーの設置等行う。
- キ. フォークリフトの走行場所と歩行通路を区分する。
- ク. 労働者の遵守事項として
 - (1) フォークリフトの用途外使用の禁止
 - (2) 荷崩れ防止措置を行う。
 - (3) シートベルトを着用する（シートベルト装備車に限る）
 - (4) 停車時の逸走防止措置
 - (5) 運転席から身を乗り出さない
 - (6) 運転者席昇降リフトの安全帯使用と墜落防止措置
 - (7) 急停止、急旋回の禁止
 - (8) 制限速度の遵守
 - (9) バック走行時の後方（進行方向）確認
 - (10) 前進時の前方（荷の死角）確認
 - (11) 構内通行時は安全通路を歩行し、荷の陰等から飛び出さない

なお、「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」には荷主等が管理する施設における荷役作業にあっては荷主等が取り組むべき事項も具体的に示されています。

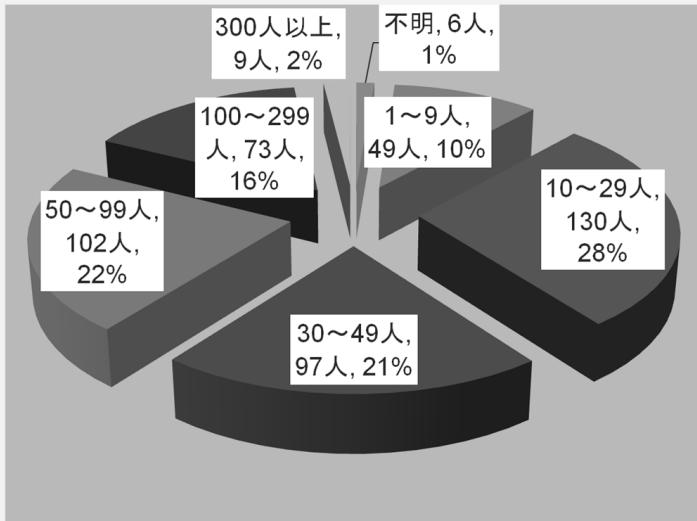
安全管理士 フォークリフトによる災害を防止するための強化のポイント の着眼点

安全管理士 中尾 陽

厚生労働省『職場のあんぜんサイト』のデータを使い、一般貨物自動車運送業におけるフォークリフトが関与した労働災害 466 件について分析してみました。(平成 20 年～22 年のデータを使用。)

守ろう基本操作！確認しよう現場の状況！見つけよう危険個所！目指そう無災害で明るい職場！

1. 事業場規模別死傷災害

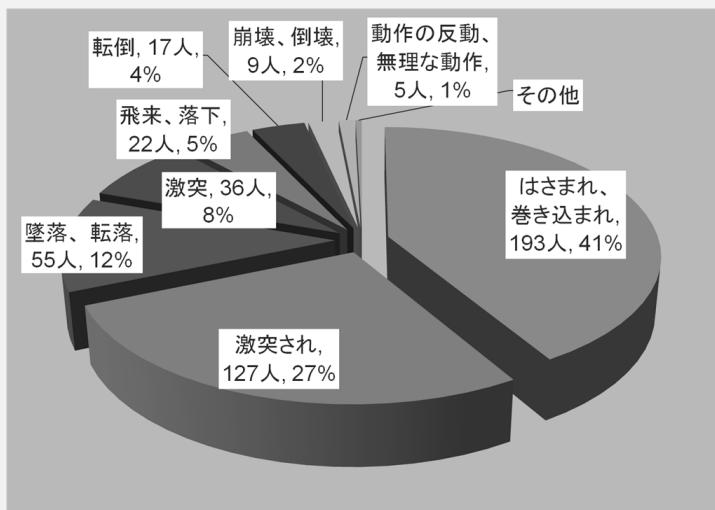


災害防止対策 一取組強化のポイント一

50 人未満の事業場での災害発生が多い。

⇒ 安全衛生管理体制を再確認し、見直しを図る。

2. 災害の型別死傷災害

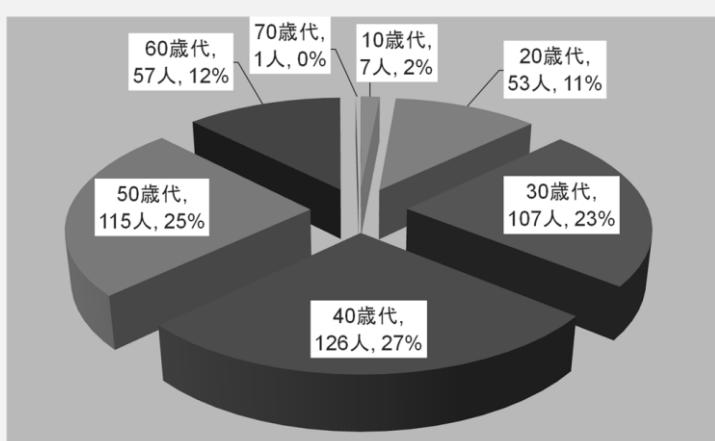


災害防止対策 一取組強化のポイント一

「はさまれ、巻き込まれ」・「激突され」・「墜落、転落」が三大型別災害。

- ⇒ 事業場にあった作業時の走行姿勢（走行方向）を徹底する。
- ・ 方向転換時等における安全確認を徹底する。
- ・ 作業計画、作業手順を作成し、作業者全員に徹底する。

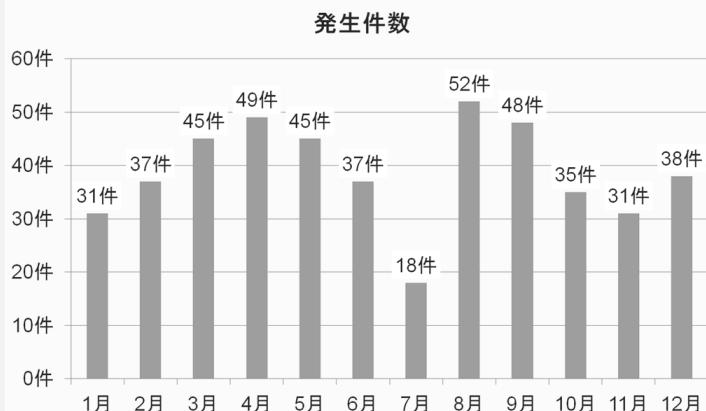
3. 被災者の年齢区分



災害防止対策 一取組強化のポイント一

⇒ 中高年齢作業者、ベテラン作業者に対する再教育する。

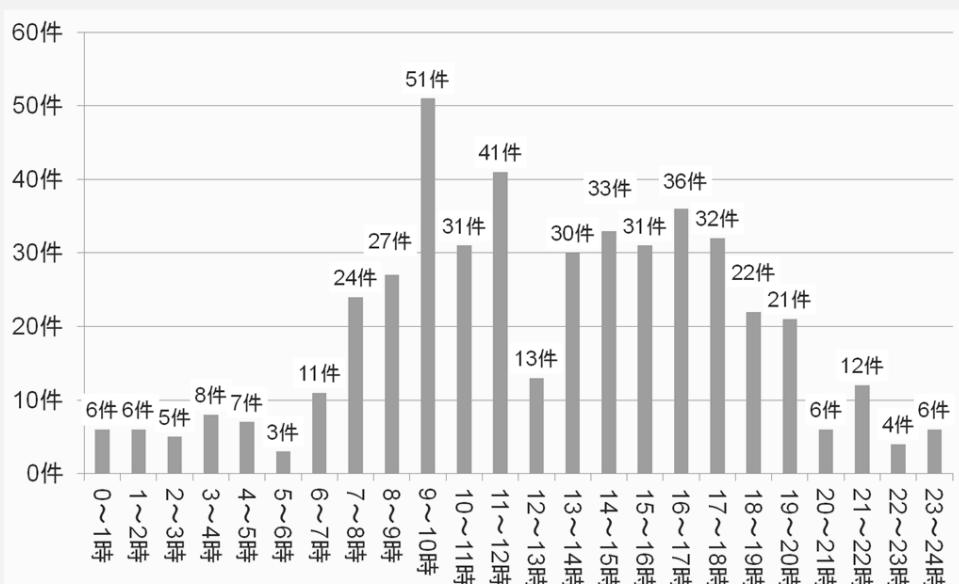
5. 月別災害発生件数



災害防止対策 ー取組強化のポイントー

⇒ 半期毎にリスクアセスメントを実施し、不安全な行動、不安全な状態を是正する。

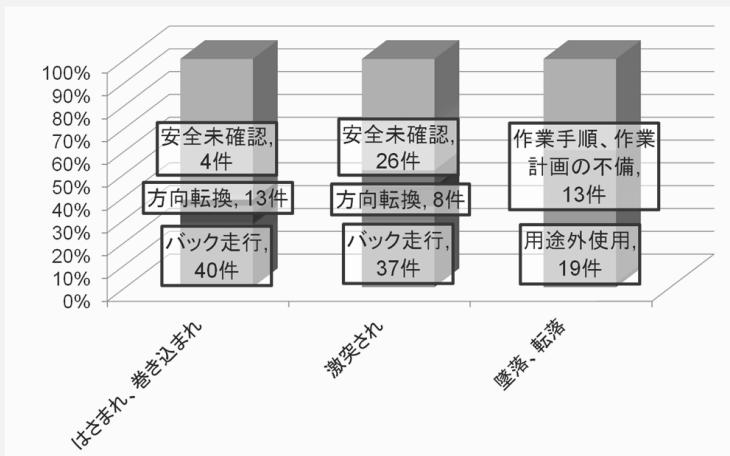
6. 1日の時間帯別発生件数



災害防止対策 ー取組強化のポイントー

- ・ 安全パトロールを実施し、不安全行動、不安全な状態を是正する。
(発生が多い時間帯の巡視が不可欠である。)
- ・ 午前、午後の始業前危険予知ミーティングを実施し、行動目標を確認する。

7. 災害時の直前操作状態



災害防止対策

ー取組強化のポイントー

- ⇒ フォーカリフトの用途外使用の禁止
- ・ バック走行時の後方(進行方向)確認
- ・ 指差し呼称の励行

安全衛生教育講師（インストラクター）養成講座を受講して

「決め事を守る勇気と続ける努力で事故はなし」で笑顔の会社へ

碧南運送株式会社 豊田物流部 深谷 正和

1 当社について

当社は、自動車部品の輸送を通して、アイシングループをはじめとするお客様各社の生産活動を支えるという使命を果たしてまいりました。

今後とも、お客様のご期待に応えることはもとより、地域の皆様が安心した生活を送れるよう、安全を最優先に考えた事業展開のもと、広範囲な物流サービスの向上につとめています。

公共の道路を利用し事業を行っているということからも、地域の皆様との共存と社会への貢献が企業発展の必須条件であると考えています。そのため当社では、地域の活動に積極的に参加させていただくと共に、車両への安全装置の搭載を徹底的に実施し、同時に新人ドライバー、ベテランポイントを問わず広く安全教育に力を注いでいます。

昨年度から特に重点に取り組んでいる活動は従来型のパトロールからリスクアセスメントの考え方を受け、過去の事故、起こりうると予測される事故に対し、予防ポイントを定めた現場指導型のパトロールに変更し、輸送事故防止活動に取り組んでいます。

また「フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育」をこれまで社外の安全衛生団体で受講実施をしていたのを、自社の従業員に対しては自社内で実施するようにし、より一層の安全衛生教育に力を注いでおります。

2 講座

オリエンテーションの後、最初の講座では「車両系荷役運搬機械等作業指揮者」「積卸し作業指揮者」「フォークリフト運転業務従事者」の3つの教育を行うための具体的な知識教育が行われました。分量が多くかったのですが、講師の要点を絞った分かりやすい講義のお陰で理解を深めることができました。1日目の終わりには懇親会が開かれ、同業の皆様との各種意見交換ができました。

2日目は「教育指導の方法」を受講いたしました。この講座では主に「教育」とは?というテーマを軸に具体的な教育指導案作成の為の法論を教えていただきました。教育の実施にあ

たっては、その目的を明確にし、まずこれを受講者に理解させることが重要であると講義の中で講師が説明していました。一見当たり前のことなのですが、他人にものを教え、実践させるには「何の為にするのか」ということをしっかりと定め、これを意識させることによってその人に伝えたいことが浸透し、実行させることができるということです。折角時間を持って安全教育を行っても、実践してもらうことができなければ事故は無くなりません。改めて「目的意識」を持たせることの大切さを感じました。2日目の夜は宿泊先のホテルにて、安全スローガンを冒頭に展開する内容を検討し、指導案の素案を作成しました。

3日目は朝から、指導案を作成し、午後からは指導案を元に各人が14分間の模擬講義を行い、自分以外の講義に対して講評を行うという貴重な体験をいたしました。実際に作成した指導案を基に行いましたが、時間が短く、指導案の内容を全て実施することはできなかったのですが、講義を行う際の練習としては今後の参考になる貴重な体験でした。

4日目は今後の安全管理の中心的手法となるリスクアセスメント（危険性又は有害性等の調査）について、メンバーを数名単位のグループに分け、同一の事例を取り上げてグループごとに討議し、その結果を発表し合いました。講師の的確なアドバイスを受け、事例をこなして要領を得てくると、次第にメンバー全員が発言するようになり、討論も熱を帯びたものとなりました。このような臨場感のある雰囲気の中で手法を学ぶことができたことは、会社へ戻り手法を展開していく際のイメージを湧かせることができて良かったと思います。

講師の皆様の熱心な講義、スタッフ皆様のサポートのお陰で無事4日間を過ごすことができました。今後は社内に持ち帰り、この経験を生かして、荷役災害撲滅の為に努力していく所存です。

最後になりましたが、陸災防様の益々の発展を祈念いたします。

業種別労働災害発生状況

平成 25 年 9 月 7 日現在

項目 業種	死亡						死傷					
	平成 25 年 1 月～8 月 〔速報値〕		平成 24 年 1 月～8 月 〔速報値〕		前年比較		平成 25 年 1 月～8 月 〔速報値〕		平成 24 年 1 月～8 月 〔速報値〕		前年比較	
	死者者数 (人)	構成比 (%)	死者者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
全産業	573	100.0	653	100.0	-80	-12.3	65,807	100.0	68,001	100.0	-2,194	-3.2
製造業	117	20.4	126	19.3	-9	-7.1	15,298	23.2	16,581	24.4	-1,283	-7.7
鉱業	5	0.9	5	0.8	0	0.0	138	0.2	126	0.2	12	9.5
建設業	196	34.2	233	35.7	-37	-15.9	9,635	14.6	9,686	14.2	-51	-0.5
交通運輸業	5	0.9	6	0.9	-1	-16.7	1,855	2.8	1,837	2.7	18	1.0
陸上貨物運送事業	52	9.1	91	13.9	-39	-42.9	8,044	12.2	7,966	11.7	78	1.0
港湾荷役業	5	0.9	6	0.9	-1	-16.7	186	0.3	220	0.3	-34	-15.5
林業	22	3.8	23	3.5	-1	-4.3	1,027	1.6	1,190	1.7	-163	-13.7
その他	171	29.8	163	25.0	8	4.9	29,624	45.0	30,395	44.7	-771	-5.4

資料出所：厚生労働省

業種、事故の型別死亡災害発生状況（平成 25 年 1 月～8 月）

平成 25 年 9 月 7 日現在

業種	合計	墜落・転落	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	交通事故 (道路)	交通事故 (その他)	その他		
											前年比	増減
全産業	573	153	2	32	29	46	78	114	3	116		
製造業	117	16	2	11	5	10	31	7	0	35		
建設業	196	93	0	10	17	16	14	14	2	30		
交通運輸業	5	1	0	0	0	0	0	3	0	1		
その他	203	36	0	10	6	19	28	57	1	46		
陸上貨物運送事業	52	7	0	1	1	1	5	33	0	4		
同上 対前年増減	-39	1	0	-5	-7	-3	-5	-19	0	-1		

(注) この表の右端の列の「その他」は、「墜落・転落」～「交通事故(その他)」以外をまとめたもの

詳細は、陸防ホームページ <http://www.rikusai.or.jp> に掲載

認定プロテクティブスニーカーをご存知ですか

…(公社)日本保安用品協会

働く人の足元の安全確保に、良質で安全な
作業靴の着用をおすすめします。

公益社団法人日本保安用品協会が定める型式認定制度合格品のプロテクティブスニーカー（通称：認定プロスニーカー）こそが、安全で品質に優れた作業靴です。

足部の労働災害防止を目的としてお求めのときは、是非協会が発行する認定合格品タグ（型式認定合格証明票）付き製品をお選びください。

お願い（認定プロスニーカーご利用の皆様へ）…足部の安全確保に貢献した点は？
また、問題点はありますか？ご意見をお寄せください。

◆警告…公益社団法人 日本保安用品協会の型式認定を取得していない製品に、認定合格品タグ、またはそれらの偽造物を付してはなりません。

★すっきりしたスニーカー調デザイン例



お問合せ先

◆型式認定制度に関するご質問

公益社団法人 日本保安用品協会

東京都文京区湯島2-31-15 和光湯島ビル5階 TEL.03(5804)3125 FAX.03(5804)3126

◆商品やその他に関するご質問

日本プロテクティブスニーカー協会

公益社団法人 日本保安用品協会内 事務局 <http://www.prosneaker.jp>